



# ひかり

=めざす子ども像=

心やさしい子

進んで学ぶ子

体を大切にする子

## 第45回運動会スローガン

「全力で挑戦だ！今日の主人公は南新っ子！」

子どもたちは、演技、競走、応援、係活動など、どの活動も一人一人持てる力を精一杯出していたと思います。その姿、眼差しは、真剣そのもので生き生きとしていました。スローガンにふさわしく、全員が主演、主人公、ヒーローだったと思います。

運動会の練習が始まって2週間。子どもたちを励まし支えてくださった保護者の皆様には感謝するばかりです。運動会前日準備もご協力いただき、ありがとうございました。そして運動会当日、子どもたちのアナウンスを聞いてくださり、気持ちよく譲り合いながらお子様を応援する姿は、清々しく心温まる思いがしました。その姿を目の当たりにした子どもたちの心には、きっと「人が人を思いやる姿」として映し出されていたと思います。ありがとうございました。子どもたちのがんばる姿、それを応援する保護者、地域の皆様のご様子に、勝ち負けを超越したこの運動会を「ずっと見ていたい」という思いに駆られました。

運動会は終わってしまいましたが、運動会と同様に、人生の主人公も南新っ子（自分）です。結果にとらわれず、自分の持てる力を精一杯出して生活・学習・運動に取り組んでほしいと思います。それが、「自分を大切にする」（自分で自分を成長させて理想の自分に近づいていく）ということだと思います。

児童の皆さん、とっても素敵な「運動会のスローガン」をつくってくれてありがとうございました！

これからは「全力で挑戦だ！未来の主人公は南新っ子！」です



1年ドキ♡メキダイアリー



2年南新マッスル体操 2024



3年南新エイサー2024



4年南新 SWIND



5年南新ソーラン～浜豊祭～



6年 One heart

## 豊かな心

—— 2年生の道徳の授業に参加しました ——

5月23日(木)2年生の道徳の授業に呼ばれて「南新浜小で自慢できることは何ですか」という質問に答えました。たくさんあるので2つだけ伝えました。

「一つ目は、元気にあいさつをしてくれて、勉強も運動もがんばっている、みんながいることだよ。」

「二つ目は、カモ兄がいることです。」と伝えました。

よりよい学校生活、集団生活を充実させるための学習です。子どもたちの考えたことを一部紹介します。

芝生がある。給食がおいしい。学童がある。保育園がある。みなみタイムがある。  
いっしょうけんめいそうじをする。やさしい6年生がいる。たんぼぼルームがある。  
かるがもサークルがある。やさしい人がいっぱいいる。虫さがしができる。広い校庭。



自分の所属する集団の良さに目を向けることは、所属する集団とそれに帰属する自他をも肯定的にとらえる視点となり、学校や学級の生活をより楽しくしようとする思い、言動につながっていくと思います。

2年生に限らず、みなさんは「南新浜小学校の自慢」といったら何を思い浮かべるでしょうか。小学校だけでなく、自己の所属する集団の良さについて、ご家庭で話題にしてみてもいいでしょうか。子どもも大人も、気分転換や発想の転換、何かを変える契機になるかもしれません。

—— あいさつの言葉 最近の様子 ——

「ナマステ」「ニーハオ」「アニョハセヨ」こうしたあいさつが聞こえています。(母国語でのあいさつかな。教えてくれているのかな?)うまく聞き取れたときは、私もその国の言葉であいさつをしています。

他方、男子数名が自主的に私と一緒にあいさつをしてくれる場面もあります。「おはようございます」の後に、「今日はがんばるよ～」と一言伝えてくれる子もいました。ご家庭であいさつについて話題にしている様子が目に浮かびます。ありがとうございます。

あいさつの輪が広がるといいなと思います。



## 健やかな体

—— 5月23日(木) 歯科検診が始まりました ——

6年生と5年3組の歯科検診が行われました。検診はまだ全て終わってはいませんが、学校医(歯科医師)の先生に、検診の様子・感想をお聞きしました。

子どもたちの歯の状態はいかがですか?

「子どもたちの歯の状態は、全体的に、総じて言えば、とても良い状態にあると思います。」

子どもたちの歯の状態をより良く維持する秘訣はありますか?

「毎日の歯磨きと、保護者の仕上げ磨きだと思います。」

仕上げ磨きはいつ頃まで続ければいいのでしょうか?

「乳歯の時期の歯の状態は、永久歯となった後にも大きく影響します。させてくれるまで続けた方が良いでしょう。発達段階もあり、だんだんさせてくれなくなる子もいると思います。それは自然のことで仕方がないので、本当に大変だと思いますが、させてくれるまで続けた方が良いでしょう。そこには親子の触れ合い、コミュニケーションも生まれると思います。それも大切だと思います。」

「歯の健康」の話から、親子のコミュニケーションへと広がる心温まるアドバイスでした。子どもたちの成長は思いのほか早く、関わるときに必要な関わりを続けることは、心身の健康を守ることに繋がると感じました。

